

日本国総領事表彰状の授与式

9月23日（水）、総領事公邸にてシニーツィン・ピョートル大帝記念人類学・民族学博物館（クンストカメラ）上級研究員への日本国総領事表彰状の授与式が開催されました。表彰を受けたシニーツィン上級研究員は、自身のこれまでの活動を表彰していただきありがたく思う、今後更に日露両国の交流・協力関係の発展に尽力していきたいと述べました。

アレクサンドル・ユーリエヴィチ・シニーツィン氏の経歴：1962年ウラン・ウデ市生まれ、1985年サンクトペテルブルク国立大学東洋学部卒（中国及びビルマ専攻）。同年より、ビルマ専門家としてクンストカメラに勤務する。黒澤明監督の映画作品をきっかけに日本への関心を抱くようになり、1993年頃から日本の専門家としての活動を開始する。以来、東京文化財研究所関係者、国立民族学博物館佐々木史郎教授等合計20名以上の日本人研究家の受け入れ、種々の日本関連の展示会の開催等に関与してきた。

